

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市介護老人保健施設事業特別会計

事業区分	継続	事業名	介護老人保健施設事業(収益的収入及び支出)					
所管課		庶務課	介護老人保健施設さんとおびあ様原		宇陀市介護老人保健施設事業特別会計			
事業の目的	・要介護高齢者の自立を支援し、その家庭生活への復帰を目指すためのリハビリ機能を備えた施設として、平成11年に開設。 ・利用者の尊厳を守り、安全に配慮しながら、生活機能の維持・向上を図り総合的に援助を行う。 ・ウェルネスシティ事業においては、市民が安心して暮らせるまちづくりのため、介護老人保健施設の役割を果たすとともに、介護・福祉・医療の各機関と連携し、事業の実現を目指す。				区分 No.	区分名		
					款			
					項			
					目			
細目								
根拠条例等	介護保険法、宇陀市介護老人保健施設事業の設置等に関する条例							
総合計画	第2章第3節 高齢者が安心して暮らせるまち							
H25年度事業の概要	・入所定員 100人 ・通所定員 25人 ・年間利用予定者数 ・入所者 35,818人(1日平均 98.1人) ・通所者 4,758人(1日平均 19.5人) ・収益的収入及び支出 520,000千円 (対前年度2%増) (前年度予算額 508,500千円)				財源の内訳 (単位:千円)			
					介護報酬	442,000		
事業の成果	・平成23年度決算状況 ・年間入所者数 35,183人(1日平均 96.1人) ・年間通所者数 3,672人(1日平均 15.0人) ・収益的収入 488,421千円 ・収益的支出 482,346千円 差引 6,075千円 ・平成24年度経過 ・入所者数は伸び悩んでいるが、通所者数は過去の実績を上回っている。 ・昨年4月に介護報酬が改正され、基本報酬は減額されたが、在宅復帰加算を積極的に収益に結びつけ、昨年度並みの収益確保を目指している。				利用料	68,700		
					国費			
					県費			
					市債			
					繰入金	2,160		
					事業外収益	7,140		
					H25予算額	A 520,000		
					H24当初予算額	B 508,500		
H24現計予算額	508,500							
増減額	A-B 11,500							
事業のコスト		平成23年度(実績)	平成24年度(見込)		特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)		482,346	489,000					
従事職員数【人工】		/						
人件費(人工×8,000千円)								
総事業費:人件費含む(千円)		482,346	489,000					
活動指標名		利用者数						
活動指標の算式		—						
活動指標の実績		38,855	単位	人		38,400	単位	人
単位当たりコスト(円)		12,414				12,734		
事業の目標	地方公営企業法の全部適用に移行し、次の2点を柱に、経営改善を行っていく。 ・宇陀市唯一の介護老人保健施設として、質の高い介護サービスを提供していく。 ・退職手当組合負担金が年々増額され、経営を圧迫しているが、人件費や経費の節減を、更に進める。					備考		

事業区分	継続	事業名	介護老人保健施設事業(資本的収入及び支出)				
所管課		庶務課	介護老人保健施設さんとぴあ榛原		宇陀市介護老人保健施設事業特別会計		
事業の目的	・施設・設備を良好な状態で維持し、施設介護サービスを安定して提供する。 ・建設改良を計画的に行うため、建設改良積立を行う。 ・企業債償還を安定して行うため、減債積立を行う。				区分	No.	区分名
					款		
					項		
					目		
細目							
根拠条例等	介護保険法、宇陀市介護老人保健施設事業の設置等に関する条例						
総合計画	第2章第3節 高齢者が安心して暮らせるまち						
H25年度事業の概要	・資本的収入 100千円 ・資本的支出 52,000千円 (対前年度△4.4%) (前年度予算額 54,400千円) ・事業内容(支出) ・器具及び備品更新等 2,900千円 ・企業債償還金 49,100千円 ・収入の不足額は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額及び過年度分損益勘定留保資金で補てんする。				財源の内訳 (単位:千円)		
	・平成23年度決算状況 ・資本的収入 4,380千円 ・資本的支出 56,764千円 ・事業内容 ・国の地域活性化交付金(きめ細かな交付金)事業によりデジタル交換機の導入、通所送迎車1台購入及び企業債償還 ・平成24年度経過 ・通所送迎車1台購入及び企業債償還 ・企業債現在高 853,700千円(平成25年3月) ・企業債償還最終年 平成40年度				分担金		
使用料							
国費							
県費							
市債							
その他							
事業の成果	一般財源		52,000				
	H25予算額		A	52,000			
	H24当初予算額		B	54,400			
	H24現計予算額			54,400			
	増減額		A-B	▲ 2,400			
事業のコスト		平成23年度(実績)	平成24年度(見込)				
決算額又は決算見込額(千円)		56,764	54,000				
従事職員数【人工】							
人件費(人工×8,000千円)							
総事業費:人件費含む(千円)		56,764	54,000				
活動指標名		利用者数					
活動指標の算式		—					
活動指標の実績		38,855	単位	人	38,400	単位	人
単位当たりコスト(円)		1,461		1,406			
事業の目標	・設備については、耐用年数が経過したものから、順次計画的に入れ替えていく。但し、保守点検や修繕等で延命が図れるものについては、状況を見て判断する。 ・起債は計画的に償還していく。				備考		